

庄原市の介護保険の状況

高齢者福祉課介護保険係 ☎0824・73・1167

市は現在、平成27年度から29年度までの3年間を計画期間とする「第6期庄原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定しています。

この計画の中で本市の高齢者福祉や介護保険サービスの方向性を定めるとともに、サービスに必要な給付費などの見込みを立て、来年度以降3年間の介護保険料を定めることとなります。

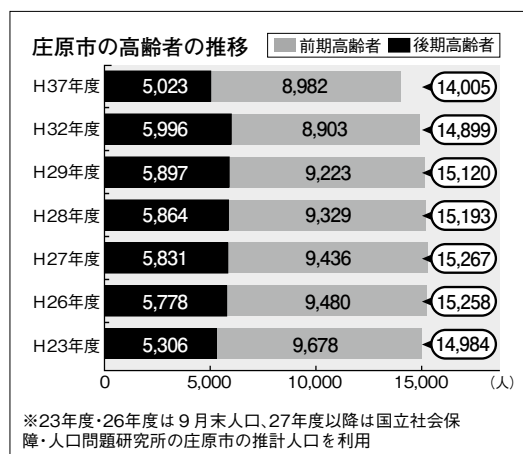
介護保険制度の運用は市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠であることから、より介護保険への関心、理解を深めていただくため、今月からシリーズで連載していきます。今回は、本市の介護保険の状況についてお知らせします。

1 高齢者の状況

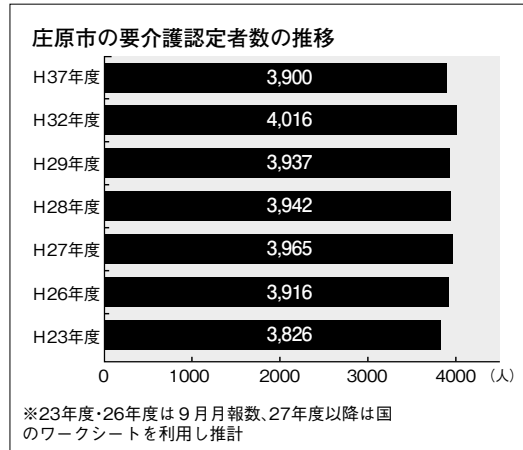
本市の現在の高齢化率は平成26年9月末現在で39.7%ですが、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)になる10年後の平成37年(2025年)には44.1%と、概ね市民の2人に1人が高齢者となる見込みです。一方、高齢者数は平成27年度をピークに減少する見込みですが、要介護状態になる率の高い85歳以上の方は増えることが予測されます。

2 要介護認定者数の状況

要介護認定者数は平成26年9月末現在で3916人です。高齢者人口から推計すると32年度に4016人となり、37年度まで3900人台を横ばいで推



移していく見込みです。要介護認定率も現状から推計すると、現在の25.4%から37年度には27.5%になると予測されます。85歳以上の人口



第6期は、要介護認定者数の増加や第5期期間中の介護サービス事業所の整備などにより、サービス利用者が増える見込みであり、介護保険料の引き上げが避けられない状況となっています。また、第6期以降も本市の人口構成から高齢化率や要介護認定率も上昇すると予測されるため、介護保険料の上昇が見込まれます。そのため第6期計画では、介護保険料に直接影響する介護給付費の上昇をできるだけ抑えるために、10年後を見据え高齢者の生きがいづくり、健康づくりなどを通じて介護予防を図るとともに、介護保険サービスや自立支援に向けたサービスの充実に取り組みます。

4 現在までの介護保険料

合併後の平成18年度からの介護保険料の基準額は次のとおりで、9年間で月額2281円増加しています。

- 介護保険料(第1号被保険者)【65歳未満】
- 平成24年度 55億1千万円
- 平成25年度 55億6千万円
- 平成26年度 58億円(見込み)

3 介護保険サービス給付費の状況

介護保険サービスにかかる費用は、第5期(24年度～26年度)の3年間で168億7千万円の支出が見込まれます。

《介護保険料の積算方法》

庄原市で必要な介護保険サービス給付費	×
第6期1号被保険者負担割合分22%	÷
庄原市の65歳以上の人数	

介護保険事業は、介護保険料と国、県、市の公的補助で運営しています。介護保険サービス利用者が増えれば介護保険サービス給付費が増え、介護保険料は上がる仕組みになっています。そのため受給バランスを考慮し介護保険料を設定しています。

年度	基準月額
第3期(18～20年度)	3405円
第4期(21～23年度)	4445円
第5期(24～26年度)	5686円

5 第6期(27～29年度)の介護保険料